

2022 年度 九州体育・保健体育ネットワーク研究会 ファイナル in 福岡

体育・保健体育の不易と流行を再考する

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 ファイナル・ラウンド テーマ

新しい生活様式の中で、covid-19 に配慮しつつ新たな人的交流が進み始めている。立ち止まることで新たに見えるものもある。アフターコロナで訪れたい国としての日本への着目、サッカーワールドカップにおけるサポーターへの賞賛など、私たちが日常としてきた習慣や心情、習慣、他者への配慮、礼節などは海外から見ると理想とする文化とも賞賛されることもある。それらは、継承してきた教育の成果とも言えるが、Society.5.0 社会を生き抜くコンピテンシー・ベースといわれる 21 世紀型能力の育成へのシフトの中で、体育・保健体育科教育が担うべき、見失わないもの、大切にすべきものを再考する。

3 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会

北信越ネットワーク研究会、中国・四国ネットワーク研究会、関東・東海・関西ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学

〔後援〕佐賀大学、大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

〔協力〕台湾師範大学、韓国中央大学

4 期日

令和5年3月4日（土） 10:00～17:00（受付：9:30～）

5 場所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクシオン福岡）

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 TEL 092-611-1717

6 方式

対面 100名まで 先着順

Web 300名まで 参加可能

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大の場合、Web のみでの開催といたします。

7 内容

9:30 受付

10:00-11:30 ポスターセッション（発表は、対面方式で実施）
研究成果、教材等の展示、発表

12:30 開会式

第1部 ハイブリッド

12:40-13:40 体育・保健体育で継承したい文化や学びを考える（進行 石川泰成）
関 伸夫（国立教育政策研究所教育課程調査官 併 文部科学省教科調査官）
塩見英樹（国立教育政策研究所教育課程調査官 併 文部科学省教科調査官）

第2部 ハイブリッド

13:40-14:40 不易と流行 学校現場で大切にしている文化や学び（進行 高橋修一）
小学校 石川信太郎 大分市立明治小学校 体育専科教諭
中学校 小野寺理香 北見市立常呂中学校保健体育科教諭
高等学校 大谷 麻子 神戸大学附属中等教育学校 保健体育科教諭
管理職 佐々木美奈子 塩竈市立玉川小学校 校長

第3部 ハイブリッド

15:00-16:30 海外から見た体育科教育の不易とは？：ハイブリッド国際シンポ（進行 佐藤豊）
Devid-kirk（四方田健二） イギリス
Ching-Wei,CHANG（国立台湾師範大学） 他 交渉中
司会・通訳：本多壮太郎（福岡教育大学）

16:30- 事務連絡

16:40- 閉会式

8 資料代（研究紀要）

2,000円（学生は、1,000円）

※ Web参加の方は、各自お振込みいただいた後、発送いたします。

※ 九州ネットワークの会費については、2022年度会費未納入者のみ徴収します。

9 参加申し込み

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、2月24日（金）までにお申し込みください。（携帯からのアクセスも可）

ポスター申し込みもこちらからです。※ポスター締切は、1月31日（火）です！

<https://forms.gle/3yyJVUzx5UcyRbMz6>

申し込み画面にジャンプします。

スマホからの参加

申込はこちらから

問い合わせは、事務局：椛（かこい）<chichicaco@nifs-k.ac.jp>
までお願いします。



10 その他

- ◆ コロナ禍での開催であるため、会場での参加は100名までとします。（先着順）
- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。（非常に取りにくくなっています。お早目に！！）

11 問合せ／連絡先

事務局：鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

担当：椛 ちか子（0994-46-4971, chichicaco@nifs-k.ac.jp）

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL/FAX 0994-46-4971

12 会場案内



バス

JR博多駅 バスターミナル14番乗り場から

37, 39, 39-Bのバス・・・約20分

（月隈団地経由）（アクション福岡前下車）

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・約6分

太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・約9分

【ポスターセッション 申込み方法】

※ ポスター締切は、1月31日（火）です！
ポスター原稿を事務局：梅（かこい） chichicaco@nifs-k.ac.jp までお送りください。

エクセル、
ワード、
PPTでA4

＜ポスター作成イメージ＞

全国の中学校ダンス授業の指導状況調査及びダンス授業教材の開発・開発事例

～令和2年度スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業「ダンス指導成果の検証」調査より～

梅ちか子¹⁾、佐藤豊²⁾、高橋修一³⁾、石川泰成⁴⁾、金高宏文¹⁾、浜田幸史¹⁾、山崎雪子⁵⁾、山崎美音⁶⁾、小松忠理子⁸⁾、田巻以津香⁹⁾、萩原香織¹⁾、高岡綾子¹⁾、高岡瑞季¹⁾、岩佐知美¹⁾、

1) 鹿屋体育大学 2) 桐蔭横浜大学 3) 日本女子体育大学 4) 埼玉大学 5) 新潟大学 6) 静岡大学
7) 長崎大学 8) 鹿児島女子短期大学 9) 東海大学 10) 高槻市教育委員会 11) 高槻市立川西中学校

タイトルを
お願いします

＜背景及び目的＞

令和元年度のダンス授業の指導状況調査では、中学校の保健体育科教員の多くが、ダンス授業の指導内容や指導方法、教材について学ぶ環境や情報提供ツールの整備が必要であることが明らかとなった。本調査では、教員側の観点から指導の成果と課題を検証すると共に、「知識」と「技能」を関連付けた指導実践及び教材の開発を促し、新学習指導要領を踏まえた目指すべき授業の在り方を提案することを目的とした。

＜方法①＞

調査対象は、ダンスの「技能」、「態度」、「知識」の観点から、ダンス授業における指導方法、教材、多角的な観点から調査した。結果を集約し、解決策を検討した。また、本調査を行う前に調査小委員会の承認を得た。

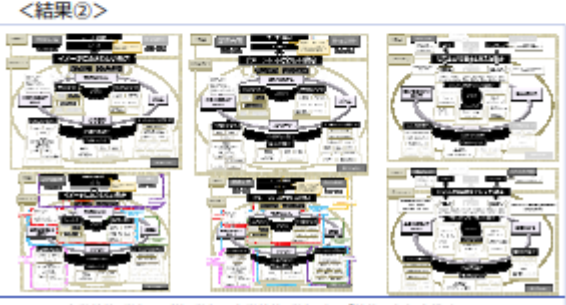


＜本事業の成果＞

全国の中学校でのダンス授業の実態について、アンケート調査から把握することができた。ダンス授業の実態に即した指導方法や教材を開発することができた。未だ現職教員の不安が大きいこと、また、「創作ダンス」や「現代的なリズムのダンス」の指導について、指導内容に偏りがちな傾向が確認された。教員側のダンス授業に係る先入観を取り払い、学習指導要領の内容に即した指導方法や教材を教員に提供することや、ホームページの充実を図り、調査結果及び成果事例の取組のみならず、ダンスの指導法を示した動画教材の開発を促すこと、WEB上でダンス授業の教材や指導法について動画教材を提供することや、学習指導要領の例を示すことは、ダンス授業のイメージが掴みやすく、その指導法や教材をベースとして、それぞれの学校で実践することが期待される。

＜方法②＞

ダンスの技能の要素をまとめた教材及び学習指導要領に基づいた単元計画例を作成し、具体的な指導に関する動画教材と共にホームページ上で公開した。それらの教材や指導法等を基に、教員対象の研修会や各中学校で実際にダンス授業を行い、成果と課題を検証した。



＜実践＞

中学校における実践

研修後のアンケートの結果、「技能評価観点構造図」については、全教員が、「知識」（わかる）と「技能」（できる）を繋ぐ。ダンスの指導や評価をする上で役立つと回答し、一定の評価を得られたと考えられた。ホームページの動画教材の提供についても好評であり、研修で行った内容の復習としても活用できるような促すことも有効である可能性が示唆された。

作成資料、指導案等の提供も可能です